

【防災科学技術関連】安全・安心の確保に関する課題への対応

資料1-3-1
科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
(第65回) H30.8.20

大目標: 防災科学技術については、大規模自然災害に対して、安心・安全を確保するべく、従来の研究手法に加えIoT、ビッグデータ、AI等の先端科学技術を活かした研究開発を推進し、災害に対する予測力・予防力・対応力のバランスがとれたレジリエントな社会を構築する。

大目標達成のために必要な中目標: (予測力・予防力の向上)自然災害を的確に観測・予測することで、人命と財産の被害を最大限予防し、事業継続能力の向上と社会の持続的発展を保つため、国土強靱化に向けた調査観測やシミュレーション技術及び災害リスク評価手法の高度化を図る。(対応力の向上)発災後の被害の拡大防止と早期の復旧・復興によって、社会機能を維持しその持続的発展を保つため、「より良い回復」に向けた防災・減災対策の実効性向上や社会実装の加速を図る。

